

1. 題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
2. 学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
3. 文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
4. 文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

ヤクスギランド

岳南中学校 二年 宮崎 瑞夏

「山に登りたいけど屋久島の山は、私には少しハードルが高いかも」

そう思っている方は、少なくないと思います。

そんな時に、「ヤクスギランド」はどうでしょう。

ヤクスギランドには、三十分コースから百五十分コースと、様々なコースがあります。

では、三十分コースについて詳しく話した

中学校

いと思います。この三十分コースは、「ふれあい径コース」といわれています。そして、このコースは、唯一遊歩道が完全整備されているので、軽装の方や、小さな子ども連れの方でも、簡単に自然に触れ合うことができます。たった三十分でも、ぐぐり桐、切株更新千年杉、双子杉、清涼橋などと、たくさんのおすすめスポットがあります。体力に自信のない人で、屋久杉を気軽に見に行くことができ

No.

5. 読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
6. 人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
7. 漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」とを、しっかりと使いわけましょう。
8. 書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

(不許複製)



- 1、題目は、一行めの三はんめか四はんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ）月 日 曜日

では、次に簡単に百五十分コースについて話します。

百五十分コースは、やはりひげ長老が一番魅力的です。ひげ長老は、コケが根や枝に生えており、迫りのある木です。百五十分コースは、屋久島の森の中を簡単に歩くことができて、さる所なのでぜひ行ってみたいと思います。さて、話は少し変わりますが、皆さんは、先ほどまで話していた「ヤクスギランド」に行ったことありますか。私は、少なくとも三回は、あると思います。一回目や二回目は幼稚園生や小学生の時に、学校の行事や、家族で少し行ったことがあります。そして三回目は、小学五年生の時の宿泊学習で、「屋久島環境文化村センター」の方々に二つに別れた私達に楽しく、分かりやすく丁寧に詳しく教えてくださりました。

中学校

私はこのとき、説明を聞きながら、屋久島にあるたくさんのお木々の名前や、コケの名前、不思議な形をした木や、なぜこんなことになる

No. _____

- 5、読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三はんめか四はんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さげて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さげて書きはじめ、一つの段落がおわったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

つたのからがらなり物ほど様々は名前をか
 ぼって覚え、家族に説明をしたりなどして
 ました。その中で私が長く覚えてゐるボク
 どの説明をしたかと思ひます。
 では、私が一番印象に覚えてゐるのが、合
 体木という、他の木と他の木が成長してい
 ながら、ぶつかり、そのまま合体してしま
 た木のことです。私は、その木を見て、
 「はげしいな」と
 と思ひました。ぶつかった後にそれを余ける

中学校

のではなく、そのまま引つたままうご
 かとでも面白かったです。

私にただ、説明されても分からな
 ので、ぜひ、見に行きたく思
 いません。このように木々や迫
 りありません。まだ説明しきれ
 ない部分があります。屋久島に
 来て、屋久島に来たついでに、
 プラタナスギランドに来
 ました。

No.

- 5、読みやすいように、と。とをしっかりとつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」を、しっかりと使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことはおきない、むだなことはけずりましょう。

(不許複製)

